

「がん」コーナー新着図書を紹介(No. 11)

書名・著者・出版社(年)	内容紹介	請求記号	資料番号	内容分類・場所
『自宅で親を看取る』 小池 百合子 著 幻冬舎(2014. 9)	末期がんである母親とともに「自宅ホスピス」を選択した著者の介護記録である。終末期医療のあり方について考える内容であり、看取りを可能にするには在宅医・訪問看護師・ケアマネージャーなどのチームとしての役割分担が重要であると認識できる。著者は政治家であるので、在宅ケアの国策についても方向性を示している。	916/コイ	323256347	分類
				肺がん闘病記
				がん関係図書コーナー
がん8				
『大腸がん』(健康ライブラリー) 高橋 慶一 監修 講談社(2014. 10)	大腸がんの治療方針を検討するための知識が得られる。とりわけ、直腸がんは臓器・神経に近いことから手術も困難であるとして、これに伴う「人工肛門」のケアについてはイラストを駆使して詳しく説明している。大腸がんは、「排便」の影響により、肛門機能の温存手術を含め、生活と治療に深く関係することが読み取れる。	493.4/ダイ	323257402	分類
				大腸がん全般
				がん関係図書コーナー
がん2				
『前立腺がん』 (別冊NHKきょうの健康) 頼川 晋 総監修 NHK出版(2014. 10)	2025年には、日本で患者数約12万人になると予測される前立腺がん。改めて、PSA検査(血液検査)による早期発見の必要性を認識する。排尿障害や勃起機能障害などの合併症や尿トラブルの対処法など丁寧に説明している。索引、前立腺全摘除術の入院スケジュールあり。	494.9/ゼン	323258004	分類
				前立腺がん全般
				がん関係図書コーナー
がん3				
『「血液のがん」と言われたら…』 小澤 敬也 著 保健同人社(2014. 10)	「血液のがん」について、一般的な知識を十分に得られる内容である。各種の「血液のがん」の症状・検査・診断・治療について分かりやすく説明している。分子標的治療などの化学療法等の進歩がある反面、造血幹細胞移植は高齢者には高リスクであるなど、個人差による治療の難しさも伺い知る。	493.1/オザ	323255786	分類
				血液のがん全般
				がん関係図書コーナー
がん5				

<p>『はじめての乳がん』 土屋 美樹 著／濱岡 剛 監修 亜紀書房(2014. 10)</p>	<p>乳がんについて、素人目線での質問事項を設定して、がんを体験した著者が端的に回答した上で、項目毎にまとめの一文を加筆する構成になっている。内容を大きく分けて、本書索引にもあるように、「心」「コミュニケーション」「治療」「お金」「仕事」となる。がん患者という当事者になれば決断できない課題も、がん体験者だから分かる細やかな視点でアドバイスしている。</p>	<p>495.4／ツチ</p>	<p>323257238</p>	分類
				乳がん助言
				がん関係図書コーナー
				がん4